

令和7年度 第2回檜葉町原子力施設監視委員会 議事概要

日 時：令和7年10月14日（火） 【前半】10:20～11:50、【後半】12:25～14:50
場 所：檜葉町役場3階大会議室

配付資料

次第

出席者名簿

資料1 福島第二原子力発電所に関する要確認事項への回答（東京電力）

資料2 福島第一原子力発電所に関する要確認事項への回答（東京電力）

資料3 福島第一原子力発電所に関する要確認事項への回答【トピックス事項除く】

1. 挨拶および委嘱状交付

松本町長、岡嶋委員長、及び東京電力ホールディングス株式会社（以下「東電HD」とする）福島第二原子力発電所所長の都留氏、福島第一原子力発電所副所長の北畠氏より挨拶があった。

2. 議事

（1）福島第二原子力発電所の現状確認

「資料1：福島第二原子力発電所に関する要確認事項への回答（東京電力）」について、東電HDより説明がされた後、委員が議論を行った。委員による確認事項・意見は以下の通りである。

- 【意見】資料1のP.3など、計画が変更された点については、その理由を記載するようにして、わかりやすい資料作成をお願いする。
- 【確認】原子炉の建屋コンクリート（資料1のP.5）や機械的除染のために用いる水や金属（資料1のP.11）などの廃棄物は、放射性廃棄物の分類に沿って適切に分類し、管理・処理していく。
- 【確認】建屋コンクリート（資料1のP.5）など表面のみが汚染されている場合は、表面のみを削り、汚染した部分としている部分に分けて処分する。その際、安全対策を丁寧に実施する。
 - 【意見】浸透汚染の有無については丁寧に判断いただきたい。
- 【確認】焼却灰の固形化（資料1のP.25）は全ての電力会社共通の課題であり、今後、更に対策を検討していく。
- 【確認】福島第二では、福島第一との同時発災を想定した訓練を行っており、本社においても同時に2カ所の対応ができるよう準備している。
- 【確認】廃止措置に伴う放射性廃棄物の発生推定量が電気事業連合会のもの（資料1のP.23）と東電HDのもの（資料1のP.26）で大きく異なる。
 - 【意見】東電HDの発生推定量はかなり少なくなっていることから、両者の推定量が異なる理由を説明いただきたい。（後日、東京電力より回答受領）
- 【確認】2025年の津波注意報および津波警報に対しては、適切な対応および作業員の避難がなされた（資料1のP.34）。

（2）福島第一原子力発電所における論点について

「資料2 福島第一原子力発電所に関する要確認事項への回答（東京電力）」について、東電HDから説明があった後、委員が議論を行った。委員による確認事項・意見は以下の通りである。

- 【確認】デブリ取出し（資料2のP.19～）は機械の不具合などにより、計画が遅れている。
 - 【意見】試験的取出しの今後の回数や期間についてどう考えているのか、次回委員会で説明いた

だく。どういう状況になれば、次の段階に行く予定なのかを伺いたい。

- 【意見】デブリ取出しに関し、やり方の説明はあるが、リスクや安全対策に関する説明がないため、追加していただきたい。
- 【確認】雷により、陸側遮水壁ブライン供給ポンプが全台停止した（資料2のP.56）。
- 【意見】電源を2系統にするなどの対応が必要ではないか。
- 【確認】2025年の津波注意報および津波警報に対しては、適切な対応および作業員の避難がなされた（資料2のP.81）。
- 【確認】東電はトラブルを起こさないための、安全を第一とした、リスク抽出ができる環境づくりに引き続き取り組んでいる（資料2のP.82～）
 - 【意見】コンディションレポートの数の増減のデータを次回委員会で説明いただきたい。
 - 【意見】東電HD幹部も含め、現場と一体となり、作業に当たっているかが重要である。
 - 【意見】自由に意見が言え、間違いに気づいたら立ち戻れる風通しの良い環境をつくっていただきたい。
- 【確認】構内の様々なところにまだ汚染水が残っている（資料3のP.34～）。これらは1つ1つ状況を把握し、対応を検討していく段階にある。
- 【確認】タンクの解体を含み、廃棄物管理は適切に行われている（資料3のP.57～）
 - 【意見】フランジタンク解体時には除染が行われていたが、J9タンクでは行われていない。この違いについて説明いただきたい。
- 【意見】委員会の要望に応じ、リスクおよび作業によるリスクの度合いの変化が見えるリスクマップの図が資料になっている（資料3のP.75～）
 - 図だけを見て、概要がわかりやすい資料にしていただきたい。

（3）次回委員会（福島第一原子力発電所視察）における確認事項

次回令和7年度第3回監視委員会における現地視察の候補箇所について、委員が議論を行った。現地視察の候補箇所は以下の通りである。

- デブリ取出しのための作業進捗（建屋へのカバー取り付け等）
- 廃棄物保管エリア
- タンクの解体およびタンクが置かれていた場所
- ALPS処理水の循環設備
- 汚染水対策箇所（視察が難しい場所は写真等で説明いただく）

3.閉会

事務局より閉会挨拶がなされた。

以上